

令和7年度学校自己評価システムシート (県立三郷工業技術高等学校)

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおして、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する」
--------	---------------------------------------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる 生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身につけさせる 開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	8名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価 (1月22日 現在)		
年 度 目 標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	<p>【現状】 新学習指導要領に基づいた授業実践が進み、生徒の授業への積極的な参加が見られる。全学年一人一台端末が整備され、活用も進んでいる。</p> <p>【課題】 基礎学力不足の生徒が多く、学習習慣の定着と基礎学力向上、専門知識・技術の確実な習得を行い、生徒の自信を高める。ICT活用の授業方法の模索と教員間の情報共有を強化する。</p>	<p>①ICT活用による授業改善と指導力向上により、生徒の学力向上と学習意欲の向上。</p> <p>②資格取得や、各種コンテスト、大会への促進。</p>	<p>①生徒の主体的な学びを促進するICTを活用した授業や基礎学力向上のための効果的な学習方法を導入する。</p> <p>②専門学科指導の追求と課題研究の充実。</p>	<p>①教科・学科の横断的な学びを実施することで生徒の学力向上が見られ、同時に生徒の授業への積極参加が見られたか。</p> <p>②一人一台端末の積極活用がされたか。</p> <p>①工業科の授業で「授業内容が身に付いた」という生徒の割合が各学科80%以上。</p> <p>②課題研究の生徒満足度90%以上。</p>	<p>①深い教材研究、教科横断的に実施した授業観察、ICTの活用によって、生徒の授業への積極参加や内容の理解を促すことができた(熱心に取り組めた割合が学校全体の73%、内容を理解できた割合が学校全体の66%)。生徒の週3回以上の端末活用率は47%にとどまるが、教員が端末を取り入れた授業を実践しており、今後、生徒の活用がさらに広がる兆しが見えている。</p> <p>②授業内容が身に付いた割合は、M71.7%、R74.7%、E76.4%、T81.4%、C77.9%(昨年度M72.6%、R79.3%、E75.4%、T73.4%、C72.0%)であり、課題研究の生徒満足度は、M96.2%、R81.8%、E92.6%、T82.4%、C81.3%(昨年度M95.8、R100%、E96.1%、T88.6%、C73.5%)であった。</p>	B	<p>教員のICTスキルは堅調に上昇しており、生徒の授業理解に大きく寄与している。さらに活用への取り組みを強化し、生徒の活用状況を向上させていく。</p> <p>授業や資格指導に対する生徒からの評価は高く、満足度も高い。</p> <p>多くの生徒に資格取得を促進できた。</p> <p>各種コンテストでは、全国レベルで優秀な成績を収めることができた。今後も指導を充実させていく。</p>
2	<p>【現状】 生徒規範は概ね守られており、大きな問題行動は減少傾向にある。進路指導は充実しており、生徒の進路実現に向けた取り組みが進んでいる。</p> <p>【課題】 社会人基礎力、特に自己管理能力の更なる向上を目指し、組織的な生徒指導と進路指導を強化する。生徒の主体的な学びを促進し、変化に適應できる人材育成を強化する。</p>	<p>①社会人基礎力の育成を目指した生徒指導の推進。</p> <p>②生徒の進路実現に向けた指導と主体的な学びを促進する教育活動の推進。</p>	<p>①生徒の「セルフマネジメント能力」を高める生徒指導の推進。</p> <p>②社会人としての基礎的な知識・技能を習得するための指導。</p> <p>①大学コース、専門コースにおいて、特性を生かした指導を行う。</p> <p>②三年間を見通したキャリア教育の実施。</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立、特に遅刻者数が減少したか。</p> <p>②手帳を用いた自己管理の習慣化が高まったか。</p> <p>①交通安全指導の実施し、ヘルメットの着用を呼びかける。</p> <p>②基礎力診断テストを実施し、基礎学力が向上したか。</p> <p>①コース選択の満足度が高い値を示したか。</p> <p>②就職や進学に対する情報提供を充実して行えたか。</p> <p>①生徒自らの力で人生を考えることができるキャリア教育が行われたか。</p> <p>②進路行事の充実とインターンシップの積極参加が行われたか。</p>	<p>①遅刻者数は、1、2学期の総数が963件(昨年度806件)である。自己管理能力が高まったと回答した生徒の割合は69.1%(89.2%)であった。手帳の活用が進み、多くの生徒がメモをとる習慣を確立できた(67.8%)、忘れ物等の減少を実感したりしている(56.9%)。</p> <p>②1年生への自転車安全指導伝達講習会を実施。ヘルメットの着用を呼びかけている。1、2学年で4月と9月に基礎力診断テストを実施し、多くの生徒が成績の向上が見られた(1年上昇者50人、下降者43人、2年上昇者65人、下降者28人)。</p> <p>①2、3年生のコース選択の満足度は95.3%(昨年度92.6%、大学コースのみ満足度は94.5%)。1学年の進学コース希望者を対象とした説明会を実施。2学年の進路見学会を2回実施した(昨年度1回)。Handyを導入し、生徒の就職活動をDX化することができた。</p> <p>②自分の進路や人生について考える指導が十分行われていると感じた生徒の割合は91.5%(昨年度90.2%)、進路指導は十分に行われていたと感じた生徒の割合は91.6%(昨年度91.7%)であった。また、情報電子科2年生がインターンシップ実施、夏の探究型インターンシッププログラムに17人の生徒が参加した。</p>	B	<p>手帳活用の取組が5年目となり、教員が働きかけるだけでなく、自主的に手帳を活用する生徒も多くみられるようになってきている。手帳甲子園で表彰を受けることができた。</p> <p>各教科の基礎学力向上の取組は奏功し、成績上昇者を多く出している。GTZの向上も目指していく。</p>
3	<p>【現状】 本校の魅力を十分に発信できていない状況であり、募集定員を満たしていない学科が多い。</p> <p>【課題】 本校の特色・魅力・成果を効果的に情報発信し、志願者増加につなげる。積極的な外部連携を通して、開かれた学校づくりを推進し、地域との繋がりを強化する。</p>	<p>①学校の魅力発信と生徒募集の強化。</p> <p>②企業や地域、小中学校、各種機関等との連携強化。</p>	<p>①本校の特色・魅力・成果について積極的に情報発信し、生徒募集につなげる。</p> <p>②各種説明会や学校見学会、出前授業、体験入学等をととしたPR活動の実施。</p> <p>①コンソーシアムを設置し、地域の産学官と持続的な連携体制を構築する。</p> <p>②外部連携を積極的に行い、開かれた学校づくりを行う。</p>	<p>①情報発信の機会を多く設ける。</p> <p>②生徒募集において、各志願倍率1.0倍を確保する。</p> <p>①地元小中学校との連携回数の増加</p> <p>②本校で行う各種広報行事における参加者数増加。</p> <p>①コンソーシアムを設置し、次年度の産学官連携の方針や授業、行事の企画を検討できたか。</p> <p>①外部連携による活動やイベントの実施状況は増加したか。</p>	<p>①学校HP(更新数191回)やインスタグラムによる情報発信に努め、堅調にフォロー数を伸ばしている(R6 12月876→R7 12月1412)。12月15日現在の志願倍率はM科1.08、R科0.48、E科0.54、T科0.78、C科0.53であり、機械科のみ1.0倍を超えた。</p> <p>②彦成中まるごと体験、立花小との連携授業、中学校進路学習会を2回、出前授業2回実施。本校において学校説明会、学科説明会、部活動体験、体験授業を実施し、延べ878人(内中学生487人)が参加した(昨年度956人内中学生516人)。</p> <p>①コーディネーターと連携し、企業、自治体、地域の小中学校にコンソーシアムの説明を行い、設置に向けての準備が完了した。</p> <p>②三郷市教育委員会の「Giga3プロジェクト」、NPO三郷やIKEA新三郷、中小企業家同友会との連携による八潮子供向けイベントの開催・運営に寄与した。大家商会より自走式アシスタントロボットTemiの提供を受け、現在、授業での活用を目的とした教材を同社と共同開発している。</p>	B	<p>情報発信の機会はSNSの活用や外部連携により増加しており、様々な公開行事も好評である。</p> <p>コーディネーターと連携を密にし、着々とコンソーシアムの準備を進めた。外部連携の機会や規模を拡大し、優秀な人材育成への道筋を構築するために、学校全体の取組として邁進していく。</p>

学校関係者評価	実施日 令和8年1月30日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のICT活用が広がっていることは評価できる。 ・一人一台端末について、生徒からは「疑問にすぐに答えてもらえること」や「授業を欠席してもオンラインで授業・課題・資料が配信されること」に価値を見出している。 ・授業の満足度は高い。 ・ジュニアマイスターゴルドの取得者数が少なくなったと感じている。目的や目標を明確にした上で、取り組みを推進してほしい。 ・5科合同で課題研究発表会を実施したことは素晴らしい。ポスターセッション方式だと、隣のブースの説明の声にさえぎられて、説明が聞き取りにくかった。改善が必要である。 ・手帳の取組については、引き続き継続してほしい。 ・生徒指導について、少し緩みが見られると感じる。怠けてしまう生徒が増加していると思う。 ・ヘルメットの着用率の向上は喫緊の課題である。法改正を踏まえ、義務化することも検討してよいのではないかと。 ・インターンシップについて、情報電子科だけでなく、他の学科にも拡大できるとよい。 ・文化祭において、ものづくり体験の企画が減少したと感じる。課題研究発表会の内容を、文化祭でも発表してほしい。 ・GTZという指標が理解しづらかった。 ・工場見学やクラフト体験をもっと実施させてあげたい。三郷市商工会として、協力していきたい。 ・まるごと体験等の体験授業ではいつもお世話になっている。今後も工業に興味をもつ児童生徒が増加するように引き続きお願いしたい。 ・PTAとして説明会にて設置した保護者による保護者のための入学相談ブースが好評だったため、今後とも設置してほしい。 ・Temiの教材開発について、どちらかに丸投げするのではなく、共同して開発していることは良いことである。 ・フォームによるアンケートや行事への出席報告ができるのはありがたい。フォームに入力したことに対して、返信が届くようにしてほしい。